「かっこいい演奏をしたい」

県立和歌山高校総合音楽部

「軽音の甲子園」と呼ばれ、大阪市此花区の府民共済ＳＵＰＥＲアリーナで25日に開かれる中学・高校の軽音楽部のコンテスト「第37回 Ｗｅ ａｒｅ Ｓｎｅａｋｅｒ Ａｇｅｓ（スニーカーエイジ）」（産経新聞社・三木音楽グループ主催、大阪芸術大学グループ特別協賛）のグランプリ大会に、県内から県立和歌山高校（和歌山市新庄）の総合音楽部が出場する。昨年は見事グランプリの栄冠に輝いた同校。本番を前に、練習にも力が入る。

近畿を中心に116校のエントリーがあった中、8月の予選会を通過し、5年連続15回目となるグランプリ大会への出場を決めた。

出場メンバー12人は5月の校内オーディションで決まり、6月にバンドを結成した。エントリー曲は工藤静香さんのソロデビューシングル「禁断のテレパシー」。ギターのソロパートのほか、ドラム、ベースなども見せ場を作り、原曲以上にロックな〝和歌山高校らしさ〟全開に仕上げた。曲に合わせた振り付けや音のメリハリにこだわりがあるという。

昨年に引き続いて参加するメンバーは3人。リーダーでコーラスを担当する3年、藤原利華子さん(18)は「昨年はグランプリなので、プレッシャーは大きい」と話すが、「昨年は昨年、今年は今年。今年のメンバーで生み出せる音楽を披露し、悔いの残らない演奏をしたい」と決意を新たにした。

「クールでかっこいい」声やたたずまいが売りのボーカルで3年、谷脇百香さん(18)。どの角度から見られても美しく見える姿で歌うことを意識しているといい、「応援してくださる方への思いを伝えるように歌いたい」と意気込む。

唯一の男性メンバーでギターの3年、宇治真啓さん(17)は「楽器をしっかり弾かないと、ボーカルの歌を生かせない。ライバルにもうまい、かっこいいと思われる演奏をしたい」と笑顔で話した。

◇

大会当日の模様は、インターネットの動画配信サービス「ユーストリーム」などでライブ配信される。入場無料だが整理券が必要。整理券は三木楽器梅田店、アメリカ村店で配布（なくなり次第終了）。大会ホームページよりダウンロードできる。問い合わせは、大会本部（☎０６・６２２５・８７４０、平日午前10～午後7時）。

We are Sneaker Ages®

25日グランプリ大会

本番に向けて練習に励む県立和歌山高校の総合音楽部のメンバー＝和歌山市

Copyright © The Sankei Shimbun. All rights reserved.掲載記事、写真の無断転載を禁じます。